

2. 地域の熱中症リスク評価

熱中症のリスク評価に関する事例

- 熱中症のリスク評価に関する方法はさまざまで、代表的な例としては以下のようなものがある。

① 熱中症救急搬送者数と、気温もしくは暑さ指数(WBGT)との関係

＜分析の視点[例]＞

- ・ 区別（政令市の場合）、中学校区別、大字(おおあざ)別
- ・ 年齢階級別
- ・ 男女別
- ・ 曜日別
- ・ 時刻別・時間帯別
- ・ 活動別
- ・ 発生場所別
- ・ 傷病程度別
- ・ 既往症の有無
- ・ 月別の最高気温、平均気温
- ・ 日別の最高気温、平均気温
- ・ 搬送時の気温
- ・ 経年推移

② 熱中症弱者に対する“個人ごと”のリスク評価

＜どのような人が(熱中症に)なりやすいか＞

- ・ 脱水状態にある人
- ・ 高齢者、乳幼児
- ・ からだに障害のある人
- ・ 肥満の人
- ・ 過度の衣服を着ている人
- ・ 普段から運動をしていない人
- ・ 暑さに慣れていない人
- ・ 病気の人、体調の悪い人

③ 住民へのアンケート

①や②で得られたデータと、住民の意識・感覚と乖離がないか、といった活用ができる。